

## 育委員会関連事務報告(2月報告)

令和8年3月2日

### 第40回木曾岬輪中駅伝大会 開催

令和8年2月1日(日)“第40回木曾岬輪中駅伝大会(主催:体育協会、後援:中日新聞社)”が開催された。

40回目となる節目の今大会は、前回大会まで実施していた中学生男子の部と中学生女子の部とスポ少の部の3部門をジュニアの部に統合して一般の部との2部門で実施し、一般の部には17チーム、ジュニアの部には3チームの全20チームが参加した。開会式では選手を代表して木曾岬ミニバスケットボールクラブの諸戸美宙(もろとみそら)さんと藤井杏南(ふじいあんな)さんが選手宣誓し、その後のレースでは役場から北部クリーンセンター前までの往復2kmのコースを各チーム6名の走者がタスキを繋いだ。天候にも恵まれ、選手たちは観客から大きな拍手や声援を受けながら健脚を競った。主な結果は次のとおり。



#### ◆部門別総合成績

部門	優勝	準優勝	第3位
一般の部	美し国駅伝木曾岬町代表	教職員ジョギング愛好会	四エOB
ジュニアの部	Kisosaki baseball club2	Kisosaki baseball club1	木曾岬ミニバス

### 中学生と町議会議員とのふるさと懇談会 開催

令和8年2月6日(金)に中学校の防災多目的ホールにて「中学生と町議会議員とのふるさと懇談会」を開催した。この取り組みは、平成31年2月に第1回が行われ、途中新型コロナウイルス感染症の影響による中止を経て、今回で4回目の開催。

当日は、中学2年生の生徒が8つのグループに分かれ、各グループに1名ずつ議員の方々が入り、進行役をしながら意見交流を行った。各グループでは、はじめに自己紹介とアイスブレイキングを兼ねて、「いま一生懸命頑張っていること」についてお互いに話をしてから、議員の皆さんからいただいたテーマである「町の人口を増やすための施策」について、生徒が考えてきたことをプレゼンした。そのあと、テーマに沿って意見交流した。

懇談会のテーマについてプレゼンを行うことは、今回初めての取り組みだったが、自分たちが事前に考えてきたことをしっかりまとめ、議員の皆さんに伝えることができ、有意義な活動になった。懇談会が進むにつれて、様々な意見が生徒から出され、町づくりに対する関心の高さが見られた。



## 令和8年 第1回教育委員会 開催

令和8年2月6日（金） 役場4階会議室にて開催した。概要は、次のとおり。

### < 審議事項 >

- 議案第1号 令和8年度卒業式、令和9年度入学式の日程について
- 議案第2号 木曾岬町立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の策定について

### < 協議事項 >

- 第3期教育振興費本計画（トマッピー教育プランⅢ）について
- 令和8年度木曾岬町こども園・学校教育基本方針について
- 令和8年度教育委員会事業について

### < 報告事項 >

- 令和7年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果について
- 令和7年度郷土学習（子ども議会・ふるさと懇談会）の実施について
- 木曾岬町における「中学校休日部活動の地域展開」について
- 教育委員会実施事業記録について



## 木曾岬産「新海苔」を給食で提供

令和8年2月6日（金）、こども園・小中学校の子どもたちに、給食メニュー「キンパ」として、木曾岬産「新海苔」を提供した。この「新海苔」は、木曾岬町の海苔・シジミ操業者で組織する「水産業振興部会」より、海苔の日（2月6日）にちなんで寄贈いただいたもので、今年も新海苔がとれるこの時期に、木曾岬町の特産品である「海苔」に親しんでもらいたいとの願いが込められている。子どもたちは、地元の新のりを大きな口でほおばり、パリパリの触感と香りを楽しみながらおいしく食べていた。



## 北勢スポーツ推進委員協議会女性部会研修会を開催

令和8年2月7日（土）、役場4階会議室で、北勢スポーツ推進委員協議会女性部会研修会を開催した。当日は、流通科学大学の水野英莉教授より、「地域スポーツにおけるダイバーシティ&インクルージョンー多様性に『気づける』スポーツ推進委員を目指して」と題した講演会を行っていただき、スポーツ推進委員としての充実した研修の場となった。



## 第19回美し国三重市町対抗駅伝 木曾岬町代表チーム壮行会の開催

令和8年2月8日（日）に木曾岬町役場4階において、第19回美し国三重市町対抗駅伝木曾岬町代表チームの壮行会を開催した。壮行会では村上監督から代表選手の名前が呼ばれ、紹介された。その後、三輪町長から選手へ激励の言葉のほか、町議会親睦会からは激励品が贈呈された。そして最後に選手を代表して第3区の中学生男子区間を走る黒宮将斗さんと伊藤大誠さんが『木曾岬町を代表して出場できることに誇りを持ち、選手一人ひとりが楽しく走り、木曾岬町の襷を最後までつなげられるよう精一杯頑張ります!』と大会出場への抱負を力強く語った。



### 小学校6年生を送る会 実施

令和8年2月10日(火)、町体育館にて「6年生を送る会」が行われた。体育館のフロアに児童が一堂に会し、保護者の参観も可能として実施した。限られた時間の中で、在校生は6年生への感謝、6年生からは在校生に伝えたい思いなど、各学年・学級で意見を出し合い内容を考え、参加者に届くように、歌や呼びかけなどの練習をがんばって取り組んできた。

当日は、一人ひとりが「ありがとう」の気持ちを、心を込めて伝えることができた。



### 木曾岬小 文化資料館見学 実施

令和8年2月13日(金)、小学校3年生が文化資料館を見学した。小学校3年生は社会科で「昔の暮らし」について学習しており、その一環として毎年この時期に文化資料館への見学を実施している。中には、初めて文化資料館を訪れたという児童もあり、館内の展示物に興味津々の様子であった。地域在住の二人の方にゲストティーチャーを依頼し、昔の暮らしについて説明していただいた。子どもたちは、展示品や昔の暮らしの様子を再現しているジオラマを目にしながら、今と昔の暮らしの違いについて疑問や感想を述べ合っていた。また、ゲストティーチャーに積極的に質問したり熱心にメモをとったりする姿も見られた。木曾岬町の昔の生活を知ることによって、これまでの学習が一層深まる貴重な機会となった。



### 第19回 美し国三重市町対抗駅伝 開催

令和8年2月15日(日)、三重県庁前(津市)～三重交通Gスポーツの杜伊勢(伊勢市)10区間42.195kmをコースとし、市町対抗で行われる“第19回美し国三重市町対抗駅伝”が開催された。当日は寒さも緩み、風もない良いコンディションの中、選手たちはチームカラーの赤・青・黄で配色したユニホームを着用し、沿道の声援をうけながら懸命にタスキをつないだ。木曾岬町チームは総合の部において、オープン参加チームを除く全29チーム中24位(2時間42分50秒)という結

果で、全区間を走りきることができた。また、第2区において、小久保岳歩選手（木曾岬小6年）が、見事区間賞の快走を見せてくれた。

ゴール地点となる伊勢市の陸上競技場には、町長、副町長や議員の皆さまをはじめ、町民の皆さんやサポートスタッフが応援に駆けつけ、選手を勇気づけるエールを送っていた。



### 木曾岬町子ども議会 開催

令和8年2月16日（月）、小学校6年生児童による「木曾岬町子ども議会」を開催した。この取り組みは平成19年2月に第1回が行われ、今回で20回目を迎えた。当日は、6年生の児童が4題の質問内容を事前に考え、一般質問に臨んだ。議長も児童2名が交替で務め、始めは緊張した様子もみえたが、スムーズな議事進行を行うことができ、議会運営の理解につながった。それぞれの質問に対して、役場の各担当課長より丁寧な答弁があり、子どもたちが真剣な眼差しで聞き入る姿が見られ、町のことや学校生活のことを一生懸命考えていこうという思いが伝わってきた。



子ども議会の質問項目		< 6年A組 >
・質問1 「役場の充実について」	・質問2 「屋内施設について」	
・質問3 「ハラル給食について」	・質問4 「通学路の安全について」	

### 令和8年 第2回教育委員会 開催

令和8年2月20日（金）役場4階会議室にて開催した。概要は、次のとおり。

#### < 審議事項 >

- 議案第3号 令和7年度末 小・中学校教職員人事異動の内申について
- 議案第4号 第3期教育振興基本計画（トマッピー教育プランⅢ）の策定について

#### < 説明事項 >

- 令和8年度の教育課題に対する取り組みについて

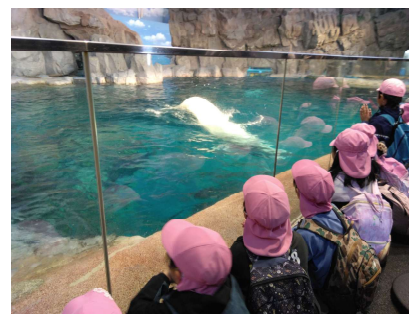
#### < 報告事項 >

- 木曾岬町教育基本方針に係る重点項目「オリジナル5プラス1」の取組状況の総括評価について
- 令和7年度英検チャレンジ事業の実績報告について
- 令和8年度 土曜チャレンジスクールのリニューアルについて
- 令和8年度 児童生徒数について
- 教育委員会実施事業記録について



## お別れ遠足を実施

令和8年2月20日（金）、こども園では、5歳児が名古屋港水族館にお別れ遠足に出かけた。行く前から、子どもたちとどんな魚を見たいか園で話し合っていた。子どもたちは、ベルーガの調教の場面を見たいということで、最前列で見ることができた。また、おうちの人の作ってくださったお弁当を楽しみにしており、「何が入っているか」のクイズをしたりして、楽しく遠足に出かけることができた。



## 新1年生を迎える会を開催

令和8年2月26日（木）、こども園・小学校は、来年度1年生になる子を迎える「新1年生を迎える会」を開催した。こども園5歳児は、厚紙で作ったランドセルを背負い、中に筆箱と色鉛筆を入れ、音楽と国語の授業を受けた。国語の授業では、5歳の子の横に1年生の子がついてくれて、ひらがなで自分の名前を書く練習をした。1年生の子が「こう書くんだよ」とやさしく教えてくれる場面もあった。5歳の子は、緊張しながらも、1年生になった自分に思いをはせていた。

